

行政視察報告書

令和5年8月23日

貝塚市議会議長 南野 敬介 様

阪口 勇
川岸 貞利

【日程及び視察市】

令和5年8月21日 午後2時～3時

大阪府 阪南市

「中学校廃校跡地利用について」



【内 容】

貝塚市役所を午後1時過ぎに出発、午後1時45分に阪南市役所に到着。

3階議会事務局へ、そして委員会室に通され、まず見本阪南市議会議長の挨拶を受けました。その後、こども政策課課長の山本氏から、阪南市子育て拠点再構築方針について説明があり、続いてこども政策課の油谷氏から尾崎中学校廃校跡地に民間の認定こども園を誘致するに至った経緯について説明を頂きました。

阪南市では、「市立小中学校及び幼稚園の整理統合・整備計画」を平成18年11月に策定し、小学校の統合を進めるとともに、中学校では尾崎中学校と鳥取中学校が統合し、令和2年4月から鳥取中学校の敷地と建物を使用して、鳥取中学校がスタートしたため、令和2年3月末で尾崎中学校が廃校となった。

認定こども園誘致に至る経過では、平成27年公立7施設を公立1施設にする「総合こども館構想」が出されたが、平成28年廃止となり、令和元年に「子育て拠点再構築方針」が決定された。そして、尾崎地区にある尾崎幼稚園と尾崎保育所は老朽化が進み、保育所の耐震性能も基準を下回っており、両園所を新設統合し新しい認定こども園とすることとなった。

そこで、令和2年3月廃校となった尾崎中学校の跡地を活用することになり、運営主体を早期の施設整備が図れる（国の補助金がでる）民間とし、公募を行った。

令和3年3月 尾崎中学校跡地のグラウンド部分に私立認定こども園の建設工事を開始し、令和4年4月に私立認定こども園（飛鳥ゆめ学舎）が開園した。



地域との関係では、建設前に地域住民・自治会等に事前説明を行い、校舎などについては、図書室や家庭科室などは、地域の方々が自由に利用できるものにし、地域と連携して地域の課題解決に役立つ施設運営とする方針も確認して進められたとのことでした。市役所での説明を受けた後、現地も案内して頂きました。



【感想】

尾崎中学校の廃校あとに民間の認定こども園の誘致は、「市立小中学校及び幼稚園の整理統合・整備計画」での小中学校の統合計画と「子育て拠点再構築方針」「公立幼稚園・保育所の再構築計画」と相まって、中学校跡地利用として公募により民間の認定校ども園を誘致でき、地域的にも大きな混乱がなかったとのことでした。

グラウンドに認定こども園の園舎や駐車スペースを設け、残っている校舎については地域ニーズに応える運営を行う予定ということであった。しかし、耐震強度の問題や外壁が一部剥がれ落ちるという問題が生じ、解体しなければならない状況となっていると、今後校舎解体後の利用について検討しなければならないとのことでした。

阪南市では、学校統合に伴う跡地等の利活用について、市が主体性を持って地域の活性化を視野に積極的に取り組んでいることがわかりました。

貝塚市も第五中学校の利活用について、市が主体性を持ち地域住民の声に耳を傾け、地域活性化と貝塚市の子育てや福祉に役立つものにしていくことが求められると感じられた視察となりました。